

一般質問



大橋 議員

○マスクの予防効果と黙食について

質 子どもたちの成長に悪影響を及ぼすマスクの着用は、各ご家庭の判断に委ねること、そして、黙食を即座にやめるべきだと考えますが、市長のお考えをお聞かせください。

市長 学校における黙食は、学級閉鎖や学校閉鎖にならないようにするための感染対策、また、感染リスクが高い方がおられる家庭もあるなど、家庭環境の違いもあることから、みんなが安心して学校へ通うことができるよう、環境が整う状況になるまでは現状維持を基本としながら、併せて国や県の動向を見ながら教育委員会とともに可能な対応を検討していきたいと考えています。

○住宅セーフティネットとしての公営住宅の在り方について

質 国土交通省が平成30年3月30日に各都道府県知事および政令指定都市の長宛てに発した通知「『公営住宅管理標準条例（案）について』の改正について」において公営住宅の入居に際して連帯保証人等を不要とする条例案を発してあります。その趣旨の内容を教えてください。

都市計画課長 趣旨については、

「一般の民法改正による債権の規定や単身高齢者の増加等を踏まえ、今後、公営住宅の入居に際し、保証人を確保することがより一層困難になることが懸念されるところ、保証人を確保できないために公営住宅に入居できないといった事態が生じることがないように、保証人に関する規定を削除するもの」となっています。

質 この国土交通省通知の公営住宅管理標準条例（案）を鑑みて、松浦市における松浦市公営住宅条例の改正を検討していただくことを要望したいと思いますが、市長のお考えをお聞かせください。

市長 住宅に困窮する低所得者への住宅提供という公営住宅の目的を踏まえ、連帯保証人を確保できないため入居できないといった事態が生じないようにしていくことが必要であり、保証人の確保を公営住宅への入居に際しての前提とすることから転換しなければならぬということとは理解をしています。一方で、連帯保証人は名義人と連携して家賃、損害賠償金、その他の債務について責任を負うこととなり、また、死亡時の緊急連絡先、トラブル発生時の対応等を担っていたくという面もあることから、まずは連帯保証人に関する規定を削除することによって、どのような課題が生じるのか整理したいと考えています。

一般質問



吉岡 議員

○コロナ感染対策について

質 新型コロナウイルス感染者の、7月・8月の10代以下から80歳以上までの数をお答えください。

健康けん課長 県保健所に確認しました年代別の感染者割合の率をお答えします。10歳未満12%、10代13%、20代12%、30代16%、40代15%、50代12%、60代9%、70代5%、80代以上6%でした。

質 こども園、保育園に対して、園閉鎖や学級閉鎖を行う際のガイドラインがあると以前言われましたので、詳細をお答えください。

子育て・こども課長 国の対策方針に基づき、基本となる感染症対策ガイドラインや、県の新型コロナウイルス感染症対策マニュアルに沿って感染対策を講じています。市としては、最新の情報を随時施設へ送り活用いただいています。また、感染者が発生した場合は、市として感染症発生時の施設の対応をマニュアル化しているの、施設と共有し、それに沿った対応をお願いしています。

質 現場のため、小さな命のために明確なガイドラインの作成を市長から担当課に指示を出していただきました。

いと思います。お答えください。

市長 新型コロナウイルス感染症防止対策については、国、県の要請に応じて協力し、推進していくことが市の役割と定められており、保育所等の休園についても、地域の保育機能を維持できるよう市が最終判断をすることと示されていることから、統一的な基準を示すことはできないと考えます。

○部活動地域移行について

質 部活動地域移行について、本市の進捗状況をお答えください。

学校教育課長 8月に教育委員会内に学校教育課と生涯学習課合同のプロジェクトチームを立ち上げ、地域移行に係る県の計画案や県内モデル地区の先行事例等について情報を共有しながら、課題の洗い出しなどを行っています。

質 部活動地域移行のプロジェクトですが、本市の進捗状況は、他県、他市に比べて遅いと思います。早期に係者への説明会を開いていただきたいのですが、教育長お答えください。

教育長 生徒を第一に考え、松浦市部活動地域移行検討会議の発足に向け、課題を整理しながら、本市にあった計画案の作成に取り組んでいきたいと考えています。